



↑ 定期総会での礼拝・リーダー委嘱・会員プログラム    ↓ 同盟協議会での講演・記念撮影風景・議事の採決



**千葉 YMCA ニュースボード**  
2013年7月1日 第176号  
[www.ymcajapan.org/chiba/](http://www.ymcajapan.org/chiba/)

## 定期総会も出合いの場

「千葉 YMCA は、広く地域に開かれた場」です。5月25日に開催された定期総会はその典型でした。開会礼拝で小林牧師(千葉南教会)の奨励をいただき、議事に続くチャリティーラン益金贈呈式では贈呈先の4福祉団体の代表からそれぞれの活動について伺いました。

後半の会員プログラムでは会員秋山胖氏(福島に在住、いわき食品放射能計測所で奉仕中)の報告を聞きました。この計測所は住民の不安を受け止め、無料で食品の含む放射能を測定し、また生活についての相談に乗ります。仙台にも計測所があり、今年中に郡山にも開設の予定。支援者を募集しています。この報告会には会員以外の方も多数見えました。

総会議事では千葉 YMCA の活動と決算が報告され、会則が一部改正(来年度常議員の定数18名を16名に変更)されました。

### ◆夏キャンプ募集好調

5月末のキャンプ参加申し込み開始から間もなくいくつかのキャンプは定員一杯となり、キャンセル待ち状態となっています。残席照会はセンターへ。

一般募集のキャンプとは別に、被災地支援として、昨年福島県伊達市の小学生を千葉に招待して行ったキャンプを今夏も実施する予定です。

### ◆YMCA 同盟協議会開催される

長く「同盟委員会」の名で毎年6月に開かれてきた全 YMCA 代表参加の会議が、同盟の公益法人移行に伴い「同盟協議会」に変わりました。この会には各 YMCA が2名の「代議員」(うち1名は35歳以下のユース)と総主事(職務上代議員)を送ります。

今年6月15、16日御殿場東山荘で開催、世界 YMCA 同盟エルトヴィク総主事が講演者として来訪されました。

同氏は講演の中で、戦後 YMCA は長い「実りの秋」を享受したあと「厳しい冬」を経験してきたが、その厳しさの中で今や春を迎える準備が始まっていること、若者が YMCA を、また社会を変革する担い手となって、これからの YMCA の運動に参画してほしいことを強調されました。今回の協議会はその日本での第一歩の感がありました。

### ◆今年のチャリティーラン

毎年秋のビッグイベント「チャリティーラン」、今年10月19日(土)船橋市夏見台の運動公園とその周辺で開催されます。6人のチームがリレーで走り、速さや宣言タイムの正確さを競います。その参加料を集めてできる基金をチャリティーとして、障がいのある子どもたちの支援団体に、また YMCA の障がい児プログラムのために配分・贈呈します。今年の実行委員会がすでに発足して準備を進めています。

○千葉センター 043-222-3811

○柏センター 04-7162-3711

○船橋地域デポ 047-425-6366